うれないし列伝

第四話　妹のお友達のです！　(久々の鑑定)

山田海月（やまだみつき）

今日は朝早くだというのに、いつもの「恐そうだけど」のホシミさんが来る前から、久々のお仕事です。ホント云うと、ちょっぴり緊張しています。なんせ妹の友達だからです。来ました、鑑定開始です。
泣きながらお店にやって来ました。年齢は18才。アルバイト先で知り合った男性から誘われ、「とても素敵な身体だね」と言われて何度か関係を持ったと言うのです。相手はとてもイケメンなのですが、ちょっと強面（コワモテ）の人です。男が云いました。
「○○ランドのバイトなら今の時給の数倍はもらえるよ」。
妹の友達は泣きながら訴えます。
「わたし、生活が苦しい訳ではないし、いまの時給900円で充分です。イケメンの彼はわたしに○○ランドで働いて欲しいと言い出すから、なんだか彼がヒモのように思えたり、ヒモに見えてきたり、頭がパニックで、涙があふれとまりません。別れ話もしましたが、別れてくれません。それどころか『学校辞めたら、もっと稼げるよ』と云ってきます…」。
わたしは妹の友達に云いました。「イケメンの彼が好きだということと、風俗で働くこととは話しが違います。あなたはは学校を優先し、今のバイトで充分なのだから、風俗で働く必要はありません。仮にの働くことになったとしても、それは本人が納得しての事です。最悪、あなたは未成年なので、警察に駆け込むという方法で自分を守ることもある。そう頭において欲しい」
そう伝えました。
危険なドラッグを「ダイエットの薬だ」といって手に入れてくる場合もあるし、イケメンの彼が直接扱っているかも知れない。なんだか危険だらけな気がします。
だから、彼とは夜に会うのではなく、アルバイトの休み時間のお昼間に会うとか、２人きりではなくお友達と一緒に会うとか、ちょっと考えた方がいいと伝えました。
彼女は困惑しているのかどうかわかりませんがずっと泣いているので、わたしの話しをどこまで聞いているか、心配です。でも、わたしに何もかも話してくれて、今後の事を冷静に考えてくれれば、占い師としてしてではなく、安心です。「人間の運命や運勢は自分の心がけ次第で変わる」ということを伝えしました。「どうか最悪の結果となる前に誰かに相談して下さいさいね。あなたが不幸にならないよう願っています。」
とは云ったものの、こ～ゆう場合、鑑定料はいくら貰えばいいのか、考えてしまいました。あっそうだ。学割ということにして、ちょっとオマケすることにいたしました。だって妹の大事なお友達なんですからね…。